

令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査



かけがわの子どもたち



掛川市教育委員会

掛川市では、『教育大綱かけがわ』の中で、子どもたちの目指す姿の一つとして「豊かな心や健やかな体に高めていくひと」とし、体力・たくましさの育成と健康教育に重点を置いています。

本年度実施した全国体力・運動能力、運動習慣等調査について、掛川市の集計結果をお知らせします。

全国平均・県平均を 100 とし、指標値により示しました。



実技に関する調査結果



【小学校5年男子】

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	シャトルラン	50m 走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
全国比較	97	97	101	102	108	101	100	104	101
県比較	100	101	106	103	106	101	100	110	103

【小学校5年女子】

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	シャトルラン	50m 走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
全国比較	98	96	99	103	108	101	100	109	101
県比較	99	99	102	103	103	101	100	107	101

【中学校2年男子】

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	持久走	50m 走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
全国比較	100	98	106	103	101	100	101	101	101
県比較	101	97	106	101	99	99	100	99	100

【中学校2年女子】

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	持久走	50m 走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
全国比較	99	98	105	101	100	101	103	104	101
県比較	99	98	102	100	97	100	100	98	99

※持久走と50m走については、タイムの速い方がよい結果であるため、市平均値を100として計算しました。

調査結果全体から見えてきたこと

- ボール投げ、50メートル走、シャトルラン、持久走において、小5、中2の男女すべてで全国の平均を上回っており、掛川市の子どもたちの投力、走力、持久力は全体的に見て高い（ボール投げは6年連続、持久走は3年連続）。
 - 反復横跳び、立ち幅跳びにおいて、小5、中2の男女すべてで全国及び県の平均を上回っており、掛川市の子どもたちの俊敏性・跳躍力は、全体的に見て高い（立ち幅跳びは2年連続）。
 - 児童・生徒に対する質問紙調査では、「中学校に進んだら（中学校を卒業した後）、自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思う」と答えた児童・生徒の割合が、小5、中2の男女すべてで全国及び県を上回っている。掛川市の子どもたちは、生涯を通じて運動やスポーツへ関わっていかうとする意識が高まっていると考えられる。
 - 「体育（保健体育）の授業が楽しい・やや楽しい」と答えた児童・生徒の割合が、小5、中2の男女すべてで全国及び県を上回っている。掛川市では、子どもたちにとって体育（保健体育）の授業が充実したものになっている。
 - 「朝食を毎日食べる」、「睡眠を8時間以上とっている」と答えた児童・生徒の割合は、小5、中2の男女すべてで全国及び県を上回っている。掛川市の子どもたちは、全体的に見て規則正しい生活習慣ができていると考えられる。
 - 「自分にはよいところがある」と答えた児童・生徒の割合は、小5、中2の男女すべてで全国及び県を上回っている。掛川市の子どもたちは、全体的に見て自己肯定感が高いと考えられる。
- △「上体起こし」において、小5と中2の男女ともに全国の平均値に届かなかった。

体力の高い子 ポイント6

「実技に関する調査」と「質問紙調査」の相関関係を分析すると、次のような子どもの体力合計点が高い傾向にある。

- ① 「運動が好き。」「運動をするのは大切である。」と思っている。
- ② 体育・保健体育の授業を除き、1週間あたりの運動時間が14時間以上である。
- ③ 放課後や学校が休みの日にも運動部、スポーツクラブ以外の場で運動やスポーツをしている。
- ④ 体育・保健体育の授業で、自分や友達の動きを撮影して活用する活動をしている。（小5男女）
- ⑤ 体育・保健体育の授業で学んだことを、授業以外の時にも行おうと思っている。（中2男女）
- ⑥ 失敗を恐れなくて挑戦している。



今後に向けて

掛川市の子どもたちは、例年と同じく、運動好きな子どもが多く運動時間も確保され、自己肯定感も高い結果となりました。今後も、幼稚園ですすめているアクティブチャイルドプログラムを継続して小学校低学年で取り組み、家庭も巻き込んで遊びを通して運動好きの子どもを育てるよう取り組んでいきます。小・中学校では補強運動（筋力をつける運動）を継続的に行い、発達段階に応じた指導の充実に努めていきます。

また、来年度は、東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。その意義を知り種目を体験する活動等を行う等、地域の特色や子どもたちのニーズに合わせた効果的な取組を推進し、体力・たくましさの育成や健康教育に力を注いでいきます。